Asset Management One
投資の力で未来をはぐくむ

NEWS RELEASE

2021 年 4 月 26 日

アセットマネジメントOne株式会社

『R&I ファンド大賞 2021』にて 最多受賞運用会社、最多受賞部門数獲得

アセットマネジメントOne株式会社（東京都千代田区、取締役社長 菅野暁）は、株式会社格付投資情報センター（R&I）が選定する「R&I ファンド大賞2021」において、運用するファンドに対して23の賞を受賞し（最優秀ファンド賞13、優秀ファンド賞10）、最多受賞運用会社となったほか、受賞部門数も最多となりました。

運用するファンドに関しては、「ハイブリッド・セレクション」、「マネックス・日本成長株ファンド」、「ＤＩＡＭ新興市場日本株ファンド」が4年連続受賞しています。さらに、国内株式のカテゴリでは各詳細カテゴリ・部門を合計して計12の賞を受賞しました。

〈受賞ファンド・分類一覧〉

投資信託20年部門

カテゴリー	賞	ファンド名称	ファンド愛称
国内株式コア	最優秀ファンド賞	ハイブリッド・セレクション	
国内株式コア	優秀ファンド賞	Ｏｎｅ国内株オープン	自由演技
国内株式グロース	優秀ファンド賞	マネックス・日本成長株ファンド	ザ・ファンド@マネックス
国内中小型株式	優秀ファンド賞	ＭＨＡＭ新興成長株オープン	Ｊ-フロンティア

投資信託10年部門

カテゴリー	賞	ファンド名称	ファンド愛称
国内株式グロース	最優秀ファンド賞	マネックス・日本成長株ファンド	ザ・ファンド@マネックス

NISA部門

カテゴリー	賞	ファンド名称	ファンド愛称
国内中小型株式	最優秀ファンド賞	新光日本小型株ファンド	風物語
バランス型（標準）	最優秀ファンド賞	たわらノーロード　バランス（標準型）	
国内株式グロース	優秀ファンド賞	ＭＨＡＭ株式オープン	

投資信託部門

カテゴリー	賞	ファンド名称	ファンド愛称
国内株式グロース	最優秀ファンド賞	ファンド“メガ・テック”	
国内中小型株式	最優秀ファンド賞	企業価値成長小型株ファンド	眼力（ガンリキ）
外国株式グロース	最優秀ファンド賞	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド（為替ヘッジなし）	未来の世界
エマージング株式マルチリージョナル	最優秀ファンド賞	新興国ハイクオリティ成長株式ファンド	未来の世界（新興国）
インフラ関連外国株式	最優秀ファンド賞	新光ピクテ世界インカム株式ファンド（毎月決算型）	
北米債券	最優秀ファンド賞	ルーミス米国投資適格債券ファンド［毎月決算型］	
バランス型（標準）	最優秀ファンド賞	たわらノーロード バランス（標準型）	
バランス比率変動型（債券中心）	最優秀ファンド賞	投資のソムリエ	
バランス比率変動型（株式・ＲＥＩＴ中心）	最優秀ファンド賞	グローバル・アロケーション・オープンＡコース（年１回決算・ 為替ヘッジなし）	
		グローバル・アロケーション・オープンＢコース（年４回決算・ 為替ヘッジなし）	
国内株式コア	優秀ファンド賞	新光ジャパンオープンⅡ	
国内中小型株式	優秀ファンド賞	厳選ジャパン	
国内中小型株式	優秀ファンド賞	ＤＩＡＭ新興市場日本株ファンド	
国内 REIT	優秀ファンド賞	ＤＩＡＭストラテジックＪ-ＲＥＩＴファンド	
バランス型（株式・ＲＥＩＴ中心）	優秀ファンド賞	たわらノーロード バランス（８資産均等型）	
バランス比率変動型（債券中心）	優秀ファンド賞	リスク抑制世界８資産バランスファンド	しあわせの一歩

※同一のマザーファンドを通じて運用されている複数ファンドへの受賞はひとつです。

※当該評価は、過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

アセットマネジメント One は、本受賞を励みに、すべての方の資産形成に資する商品・サービスの提供と運用成績の向上に引き続き努め、お客さまの未来に貢献する資産運用会社を目指してまいります。

以上

Asset Management One

【「R&Iファンド大賞2021」について】
「Ｒ＆Ｉファンド大賞」は、Ｒ＆Ｉが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきＲ＆Ｉが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第２９９条第１項第２８号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はＲ＆Ｉに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

「投資信託部門」、「iDeCo・DC 部門」、「NISA 部門」では、2021 年3 月末における3 年間の最大ドローダウンが下位75%のファンドを対象に、2021 年3 月末における3 年間のシャープ・レシオによるランキングに基づいて表彰している。「投資信託10 年部門」では、2016、2021 年それぞれの3 月末における5 年間および2021 年3 月末時点における3 年間のシャープ・レシオがいずれも上位75%のファンドを対象に、2021 年3 月末における10 年間のシャープ・レシオによるランキングに基づいて表彰している。「投資信託20 年部門」では、2011、2021 年それぞれの3 月末における10 年間および2021 年3 月末時点における3 年間のシャープ・レシオがいずれも上位75%のファンドを対象に、2021 年3 月末における20 年間のシャープ・レシオによるランキングに基づいて表彰している。表彰対象は償還予定日まで1 年以上の期間を有し、「投資信託部門」、「NISA 部門」、「投資信託10 年部門」、「投資信託20 年部門」ではカテゴリー内で上位50%以上かつ残高が30 億円以上、「iDeCo・DC 部門」ではカテゴリー内で上位75%以上かつ残高が10 億円以上の条件を満たすファンド。また、「投資信託部門」、「投資信託10 年部門」および「投資信託20 年部門」は確定拠出年金専用ファンド、SMA・ラップ口座専用ファンドを除く国内籍公募追加型株式投信、「iDeCo・DC部門」はiDeCo・DC（個人型および企業型確定拠出年金）向けに利用される国内籍公募追加型株式投信、「NISA 部門」はR&I 独自の「NISA スクリーニング」基準を満たした国内籍公募追加型株式投信を対象にしており、基本的にR&I による分類をベースとしている。「確定給付年金部門（オルタナティブ以外）」では、2021 年3 月末における3 年間の定量評価（主にインフォメーション・レシオ）によるランキングで表彰している。「確定給付年金部門（オルタナティブ）」では2021 年3 月末時点における3 年間の騰落率がプラスかつ同一戦略の中で上位50%に入っているファンドを対象に、2021 年3 月末における3 年間の定量評価（シャープ・レシオ）によるランキングに基づいて表彰している。表彰対象は『R&I ユニバースデータサービス』に登録されている運用商品としており、基本的にR&I による分類をベースとしている。

【投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項】
【投資信託に係るリスクと費用】
●投資信託に係るリスクについて
投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。
●投資信託に係る費用について　[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]
■　お客さまが直接的に負担する費用
購入時手数料：上限3.85%（税込）
換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合があるため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。
信託財産留保額：上限0.5%
■　お客さまが信託財産で間接的に負担する費用
運用管理費用（信託報酬）：上限　年率2.09%（税込）
※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。
■　その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。
※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】
●当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
●お申込に際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
●当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
●当資料における内容は作成時点（2021年4月26日）のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
●投資信託は、
1．預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加え

て、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。
2.　購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【アセットマネジメントOneについて】
アセットマネジメントOne株式会社は、DIAMアセットマネジメント株式会社、みずほ信託銀行株式会社の資産運用部門、みずほ投信投資顧問株式会社及び新光投信株式会社（以下、総称して「統合4社」）が統合し、2016年10月1日に発足した資産運用会社です。「投資顧問事業」と「投資信託事業」の双方の事業領域における運用資産残高は約54兆円と国内有数の規模を誇ります。
統合4社が長年にわたって培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、資産運用のプロフェッショナルとして、グローバル運用リサーチ体制に支えられた伝統的資産のアクティブ運用や金融工学を駆使した最先端の運用戦略等、個人投資家や機関投資家の多様な運用ニーズに対し、最高水準のソリューションの提供をめざします。
ＨＰ：http://www.am-one.co.jp/　※運用資産残高は2020年9月末時点。
商 号 等／ アセットマネジメントOne株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号
加入協会／ 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会